

1. K9AY に憧れて

MW-DX の面白さを知りグアム・サイパン辺りを皮切りにフィリピン、オーストラリア、そして北米と徐々に聴取エリアを広げていくにつれて、アンテナのグレードアップを模索することになりました。そうした中で K9AY というアンテナがあり、指向性に極めて優れるということを知り、どうしても試してみたくくなりました。



しかし国内では市販品がなく、英国で製造・販売している Wellbrook の製品は日本円に換算すると 5 万円以上になることから、購入を躊躇していました。そんな時に加藤智啓氏の Web サイト「DX with ALA1530」にシエスタ氏が「K9AY の製作」を投稿下さったので、待ってましたとばかりに秋葉原へ走り、部品一式を購入し製作しました。部品数は極めて少なく、部品代もエレメントを入れても 2,000 円以内で収まってしまい、「5 万円」って一体なんなのだろう？とってしまいます(笑)。

一部細かい作業もありますが製作そのものは難しくはなく、電子工作の経験のある方であれば可能だと思います。唯一トロイダルコアのトライファイラの巻き方は、初めての方は面食らうかもしれません。

2. 最初から大成功！

さて製作を終えたらすぐに実戦使用したく、知人 DXer 氏をお誘いし実験に行きました。少々スペースが必要であり、自宅でも張れなくはないのですがやはりノイズの少ないところで方角も自由に張りたいものです。そこで設置に際しては車で 30 分ほどの相模川の河川敷を使用しました。

設置に関してはほとんど手探りであり、河川敷の立ち木を利用してエレメントのトップをできる限り高い枝に引掛けて、そして底辺の角は石で固定し三角形を作って設置しました。立ち木を使用するとマストを準備しなくて済むのでその点は楽ですが、場所が制限されるのとエレメントの形がいびつになりがちなのが難点です。

にもかかわらず第 1 回目の実験は大成功を収めることができました。5 月だったので丁度オーストラリア方面が良い時期だったのですが、驚くべき指向性を発揮して早速結果を出してくれました。最も顕著だったのは 702kHz ですが、このチャンネルはいつも北朝鮮局が強力で、同波のオーストラリア 2BL やフィリピン DZAS は北朝鮮の停波時か、それぞれ

の方面のコンディションが良い時でないとは良好に受信できません。ところがこの日は指向性切替スイッチを切り替えると、北朝鮮局が一掃され見事に 2BL が浮かび上がってきたのでした。コンディションも良かったのでしょうがフィリピン局も入れ食い状態で、まさにウハウハもの一夜でした。

3. 何故か失敗した 2.3 回目

ところが最初に成功してしまうと、人間慢心が起こるようです(笑)。2 回目の使用は茅ヶ崎でのベディでしたが、この時は前回の実験で見せてくれたような鮮やかな指向性が全く見られませんでした。3 回目は場所を相模川に戻して行ったのですが、この時も指向性はダメでした。或いは半田付け不良で断線しているのではないかと気になってテスターでチェックしましたが、この点は問題ありませんでした。いろいろな方から頂戴したアドバイスを元にこの 2 回の反省点を考えてみると、

茅ヶ崎では K9AY の他にビバレージを 2 本近接して設置していたので、磁界がもの凄いくらいになっており、指向性が乱れていた。

相模川実験で 1 回目と異なったのは、底辺の角の固定に金属性のアース棒を使用してしまったこと。或いはこれが指向性を乱した可能性がある。

以上の点を踏まえて、今一度チャレンジすることにしました。

4. 失敗を生かして



4 回目の実験に際しては、シエスタ氏が第 2 弾として設置と実戦使用編をご投稿下さったので、有難く拝読してそっくり真似させて頂きました。特にマストに釣具の竿を用いるというのは素晴らしいアイデアであり、過去 3 回のように設置場所を制限されず、かつ極めて簡単に美しく設置することができました。マストを固定するにはマストが差し込めるだけの径の塩ビパイプ(長さ 1m ほど)の先端を斜めに切ったものをハンマーで地中に打ち込み、その中にマストを差し込むという方法で、簡単に安定した支柱ができました。

竿も途中風雨が出てきたのですが余りしなることもなく、常に安定していて安心して見ていられました。底辺の角の固定には、前回の反省を活かしプラスチック製の杭を使用しました。

さていよいよ実戦使用になりましたが、今回も初めは第 1 回目のような鮮やかな指向性が出ませんでした。しかしいつも一緒頂く DXer 氏がアース棒をいじったところ、1 回目のような鮮やかな指向性が蘇ったのです！相違点はアース棒をループの直下から少し離し

たこと、また移した後の地面が移す前よりも湿っていたことの 2 点です。こうして指向性が出たことにより、コンディションの良さも手伝ってこの日の TP-DX は大豊作！次項のような局が入り食い状態で聞こえました（表にない周波数でもかなり聞こえていましたが、忙しくて書ききれませんでした。）ゲインはさほどないですが（100m ワイヤーと比べると、ワイヤーの方がかなりハイゲイン）ローノイズと指向性で K9AY の方が断然き易かったです。たかだか車で 30 分ほどの河川敷でこれだけの成果が得られたことに、大変満足しております。

以上大変拙い経験でありまだ試行錯誤を繰り返している段階ではありますが、加藤氏にお声掛け頂きせめてもの恩返しと思いペンを執った次第です。ご参考になれば幸いです、私自身も完璧に K9AY の極意を修得できるよう、実践と研究を重ねていきたいと思っております。

最後に K9AY の製作について親切な記事をご提供下さったシエスタさん、またその発表の場を作って下さった加藤さん、実験にいつもお付き合い下さった T さん、その他 FB なるアドバイスを下さった皆様々に感謝の意を表して、本文を終りにしたいと思います。

Frequency	Station's name	Country	Lang.	Date	Time	SINPO	Notes
580	KRSA?	USA	EG	10/11	-1933-	13431	
850	KICY	USA	EG	10/11	-1700-	34443	ID at 1700
940	KWRU?	USA	SP ?	10/11	-1833-	22432	
1030	KTWO?	USA	EG	10/11	-1856-	33432	
1040	CKST	USA	EG	10/11	-1740-	23432	
1050	KTCT?	USA	EG	10/11	-1719-	22432	
1070	KNX?	USA	EG	10/11	-2050-	22432	
1100	KFAX	USA	EG	10/11	-1726-	23432	
1120	KPNW?	USA	EG	10/11	-1716-	22432	
1160	KSL	USA	EG	10/11	-1947-	32432	ID at 1957
1190	KEX	USA	EG	10/11	-1735-	32432	
1320	?	USA	EG	10/11	-1902-	34443	
1470	CJVB?	USA	EG	10/11	-2206-	24432	
1500	KUMU	USA	EG	10/11	-1732-	22432	
1510	KGA	USA	EG	10/11	-2207-	33433	
1540	KREA?	USA	KR	10/11	-1755-	23432	
1600	KVRI	USA	AR	10/11	-1929-	33433	
1630	XEUT?	Mexico	SP	10/11	-2219-	34433	
1660	KXOL	USA	EG	10/11	-1830-	25432	ID at 2154
1690	?	USA	XX	10/11	-1931-	25432	

(Oct. 11, 2003 Rx: AOR AR-7030+1.8kHz Crystal filter)